

令和6年度 道東地区教育研究所所員研修会



所員部会B 発表資料

子どもたちに自他を認め合う

心を育む研究について

十勝教育研究所 柴田 悠二

令和6年8月28日(水)

釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞

1 研究主題

子どもたちに自他を認め合う心を育む研究
～道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れる工夫を通して～

(2か年継続研究 2年次)

2 研究の仮説・構造図

研究の仮説

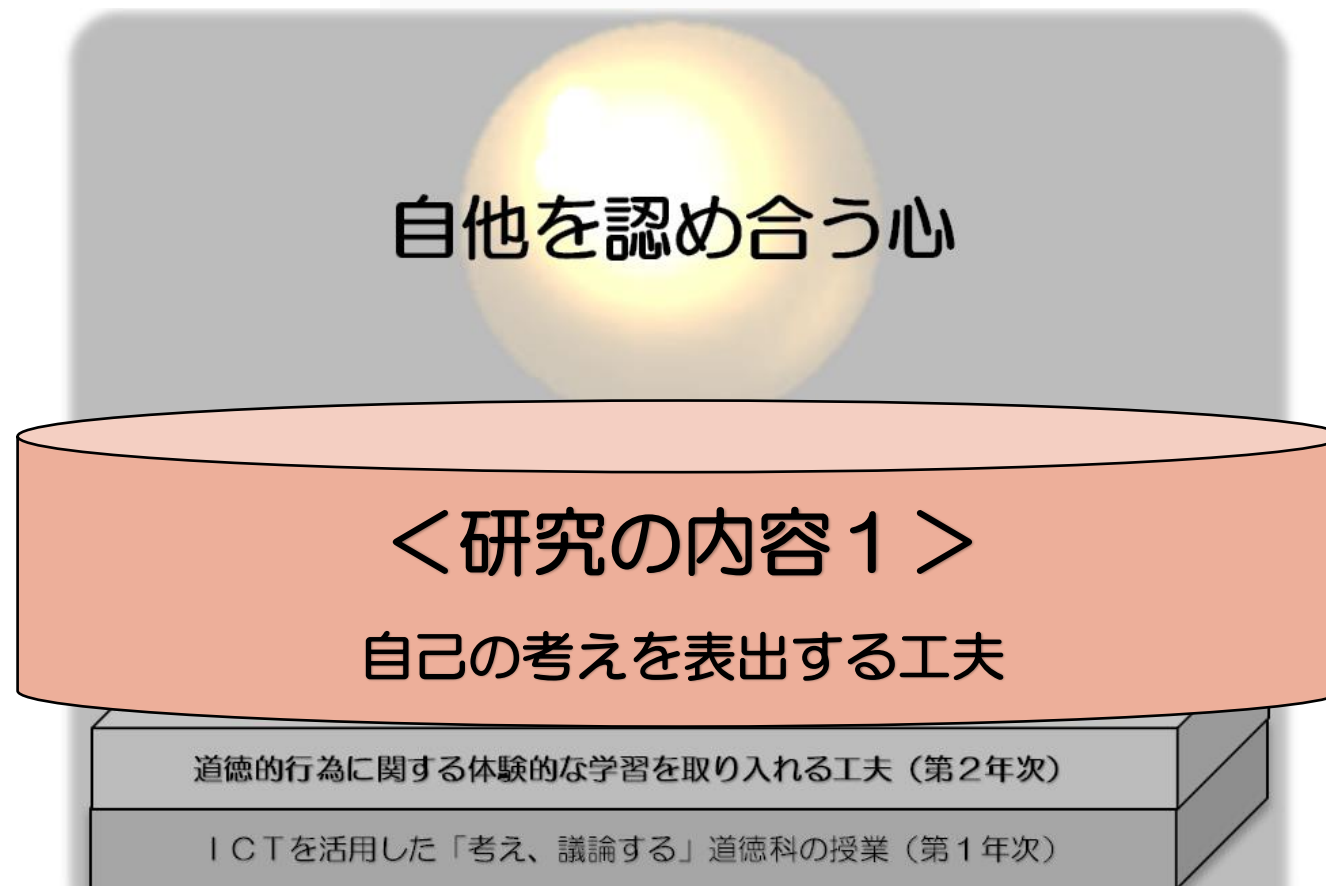
道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れる工夫を通して、自他を認め合う心が育まれるだろう。

研究の内容1 自己の考えを表出する工夫

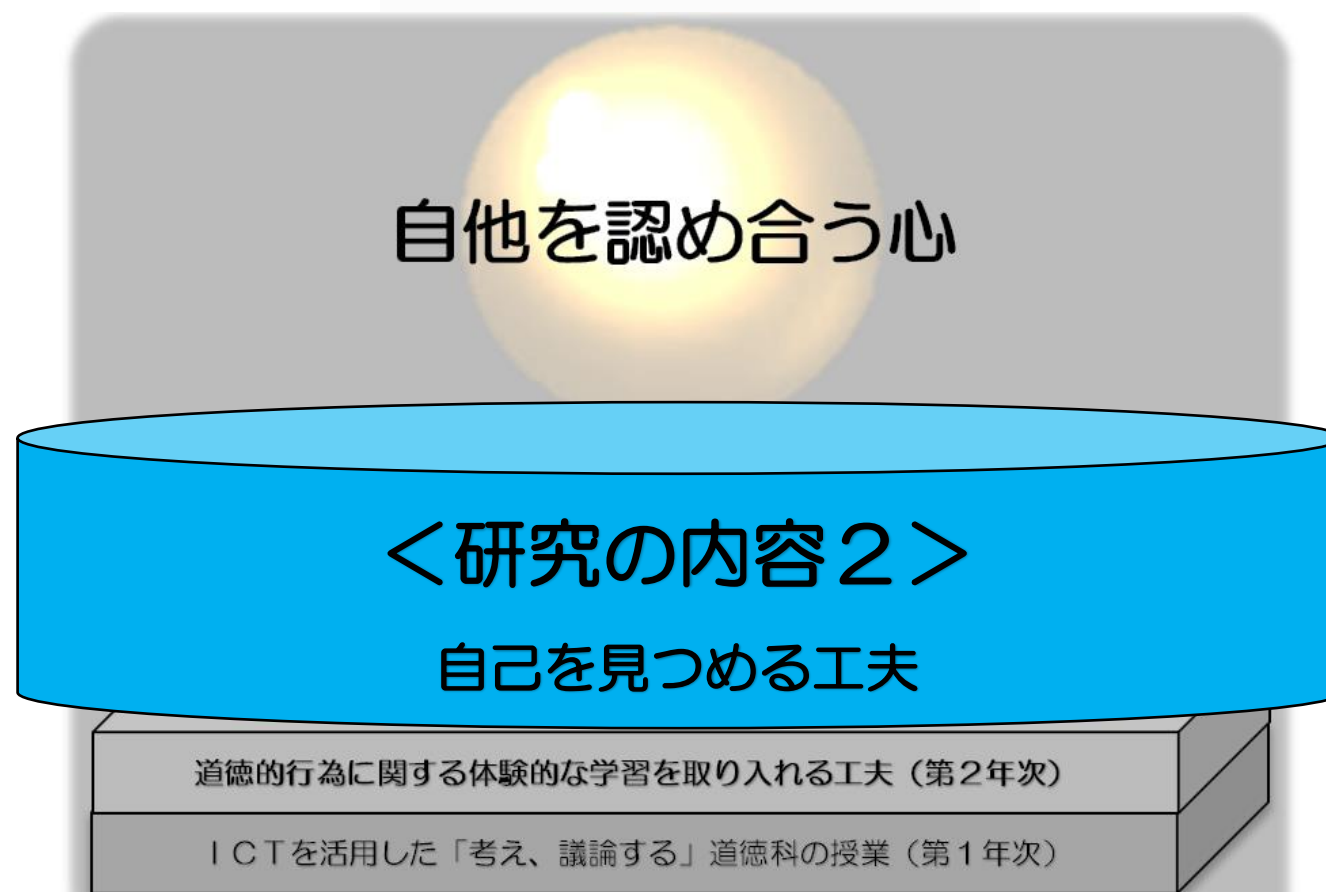
研究の内容2 自己を見つめる工夫

研究の内容3 多面的・多角的に考える対話の工夫

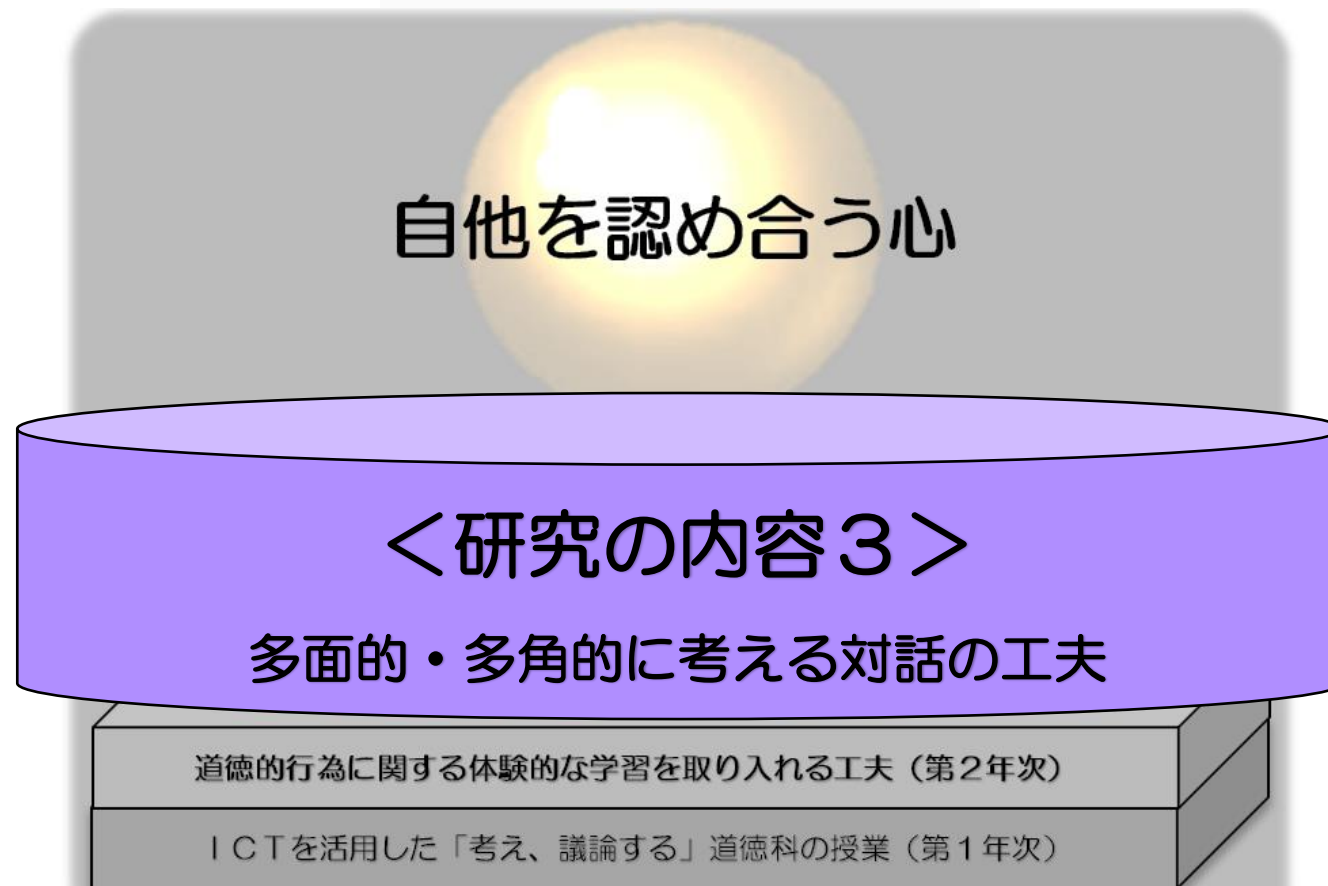
2 研究の仮説・構造図



2 研究の仮説・構造図



2 研究の仮説・構造図



3 検証内容

- ① 自己を肯定的に受け入れる心を育むことができていたか
- ② 他者を思いやり尊重することのできる心を育むことができていたか
- ③ 自己を肯定的に受け入れ、他者の考えや立場を思いやり、尊重できる心を育むことができていたか

4 検証方法

【授業からの見取り】

27 心に寄りそう (教科書p.158~161) 学習日 2022年 8月 29日
 介紹 伊藤 名前 三木 優花

課題 相手の心に寄りそうとはどのようなことだろう。

1 山田さんが筆者さんにあいさつした場面を見直してみよう
 <最初山田さんのあいさつ>
 感想 誰か話している感じがわかんない。自分に話している感じが伝わらない。
 <反省し、筆者さんとの山田さんのあいさつ>
 感想 自分に話している感じがわかんない。距離をとりすぎて、他のことを話している。

2 山田さんのあいさつが筆者さんに伝わらなかったのはなぜだろう
 ・1つ1つのあいさつに気持ちをこめて書いていないから。
 ・筆者さんに対しては、周りにくい人だなと感じてしまうから。

3 山田さんが大切なことだと学んだ「相手の心に寄りそう」とはどのようなことだろう
 筆アームに入力。送信する前に自分が書いたことを、ここにメモする。
 ・相手の気持ち、その人が希望していることを考えること。
 ・相手のことを自分のことのように考える。 ・相手の気持ちを伝える
 ・1対1で話す。 ・相手を見る

4 学校生活の中で書きてみよう
 「相手の心に寄りそえている」と感じること 「もっと相手の心を考えればいいのに」と感じることを
 友達や家族が聞いていたり、強めてくれたりすることを
 書いて、うなずいてもらう。

5 相手の心に寄りそいきが実現していくために、どのようなことを心がけていけばいいだろう
 ・他の人でも積極的にコミュニケーションをとる。 ・人を不快な言動や行動があるけど、それが
 ・相手の話をしっかりと聞きとる。 ・自分の話を自分のことのように書きたる。
 ・家族(的)の相談を受けること。しっかりと自分のことのように書きたる。

6 振り返ってみよう

1. 教材について、前後を比べて読めたか?	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
2. 自分の考えを伝えることができたか?	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
3. 友達の考えを聞くことができたか?	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
4. 授業の内容について、深く考えることができたか?	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D

【アンケートからの見取り】

自分には、よいところがあると思いますか

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

送信 フォームをクリア

【子どもの姿からの見取り】



5 研究の視点

(1) 本研究における自他を認め合う心

自己を肯定的に受け入れ、
他者の考えや立場を思いやり尊重できる心

5 研究の視点

(2) 道徳科における見方・考え方

様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで(広い視野から)多面的・多角的に捉え、自己の(人間としての)生き方について考えること

※ ()は中学校のみ

5 研究の視点

(3) 道徳的行為に関する体験的な学習

- 道徳的諸価値の理解
- 多面的・多角的に考える

役割演技

動作化

表現する活動

中学校第2学年 道徳科

教材名 「心に寄りそう」

6 授業実践

主題名 気持ちをこめて

教材名 心に寄りそう (「新しい道徳 2」東京書籍)

ねらい ほかの人の気持ちや立場を尊重し、
そのときどきの心に寄り添いながら
温かく接していこうとする態度を
育てる。

6 授業実践

(1) 自己の考えを表出する工夫



授業動画



6 授業実践

研究の内容1 自己の考えを表出する工夫


今日学んだことを、どのように生活に生かしていきたいですか？

「心に寄り添う」ことは難しいことですが、学級の中にはいろいろな人がいるので、長所や短所を受け入れて、どう接していったらよいかを考えて行動したいと思います。



小学校第6学年 道徳科

教材名 「ばかじゃん！」



6 授業実践

主題名 友達と理解し合う

教材名 ばかじゃん！ （「新しい道徳 6」東京書籍）

ねらい 互いに信頼し、学び合って、真の友情を築いていこうとする態度を育てる。

6 授業実践

(2) 自己を見つめる工夫



授 業 動 画



6 授業実践

研究の内容2 自己を見つめる工夫

今日学んだことを、どのように生活に生かしていきたいですか？

「深い友情」とは、どんなに仲がよいと思っ
ていても、相手のことを考えて、言葉を選び
ながら、会話をしたり、接したりすることが大
切だと思いました。

中学校第2学年 道徳科

教材名 「自分を信じて生きるとは…」

6 授業実践

主題名 自分を信じて生きるとは…

教材名 自分を信じて生きるとは…
(「新しい道徳 2」東京書籍)

ねらい 人間の中には弱さ・醜さもあるが、それを乗り越えようとする強さ・気高さもあることを理解する。

6 授業実践

(3) 多面的・多角的に考える対話の工夫



授 業 動 画



6 授業実践

研究の内容3 多面的・多角的に考える対話の工夫

友達の考えを聞いて参考になったことはありますか？

「一度、お釣りをごまかしてしまったが、そのあと正直に言うことができ、罪悪感が無くなり、すっきりした」という意見が参考になりました。

7 研究内容の検証

(1) 自己の考えを表出する工夫

- 登場人物への自我関与を深める効果
- 様々な体験的な学習場面の発想
- 身近な日常生活に置き換えた再現の必要性

7 研究内容の検証

(2) 自己を見つめる工夫

- 自己を肯定的に受け入れる心の醸成
- 教材場面の再現から自我関与の深まり
- 体験的な活動と思考場面のバランス

7 研究内容の検証

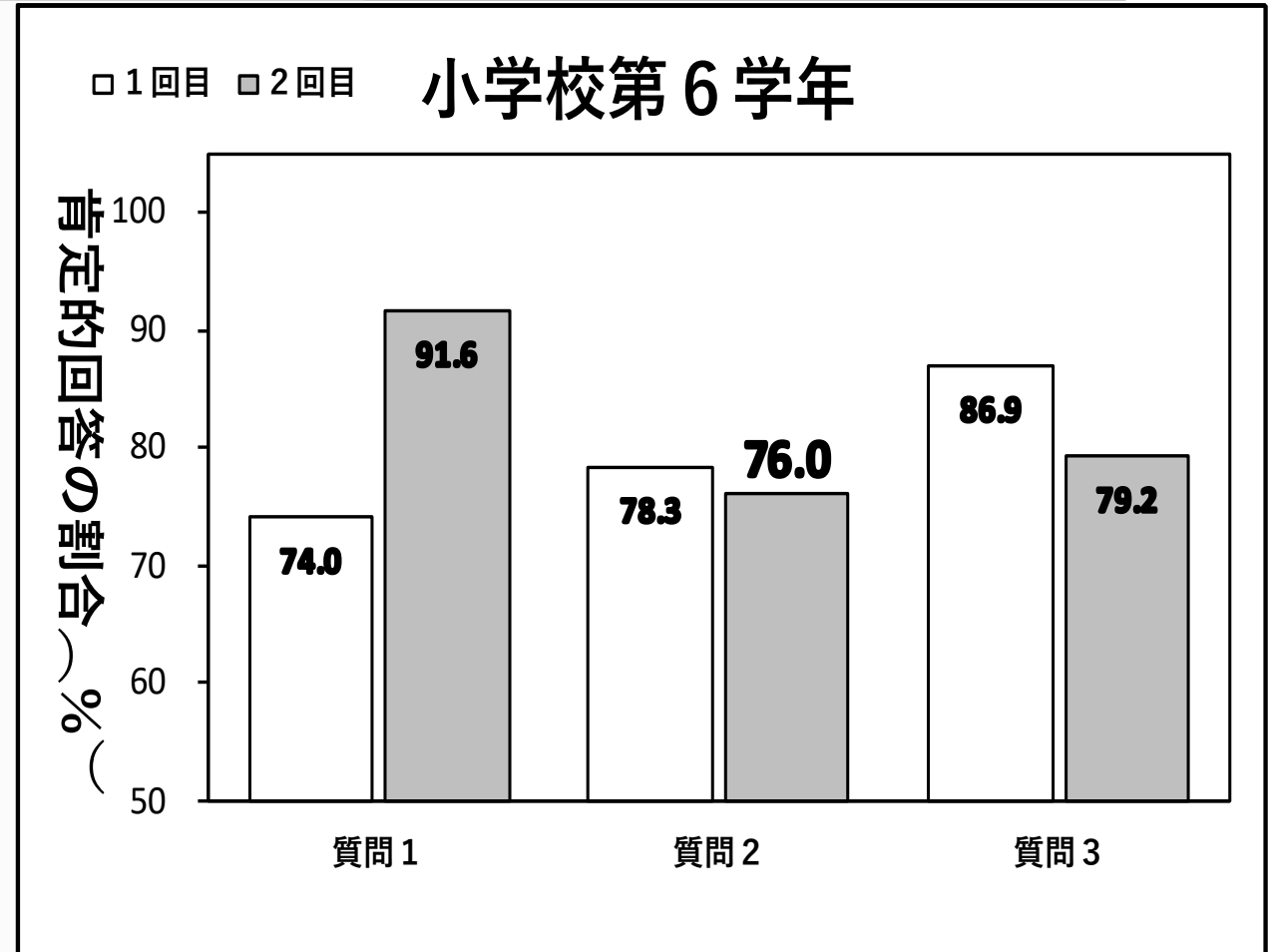
(3) 多面的・多角的に考える対話の工夫

- 他者を思いやり尊重する心の育成
- 意見交流による道徳的価値の深まり
- ICT等の効果的な活用

7 研究内容の検証

(4) アンケート結果

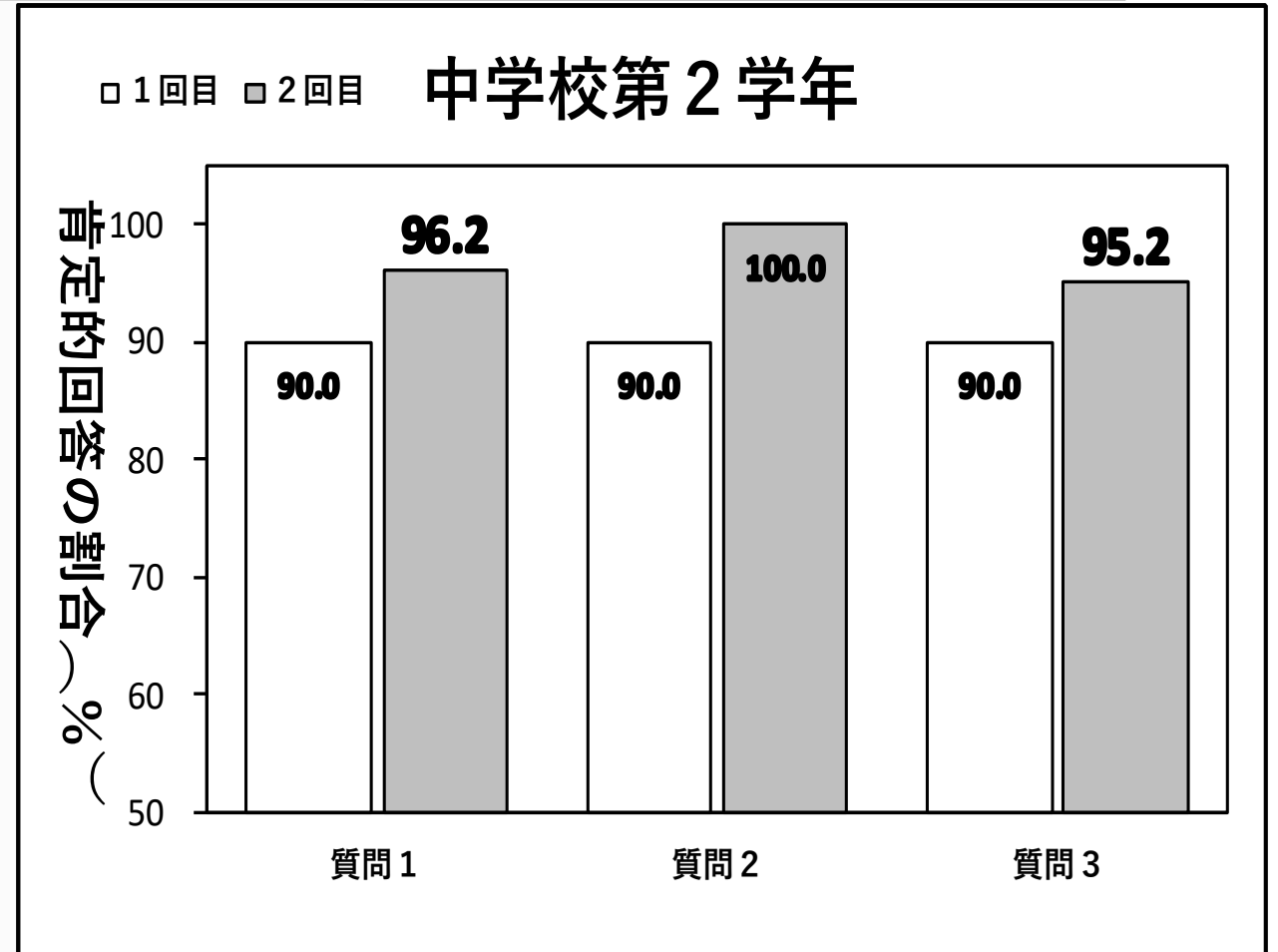
- 1 自分にはよいところがあると思うか
- 2 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか
- 3 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか



7 研究内容の検証

(4) アンケート結果

- 1 自分にはよいところがあると思うか
- 2 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか
- 3 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか



8 研究の成果と課題

- 小学校高学年や中学生でも効果的に授業に取り入れることができた
- 各教科における体験的な活動は自他を認め合う心を育む上で大変効果があった
- 自分の経験を想起しながら、他者の考えと比較することができ、多面的・多角的に考えることにつながった
- 主発問から終末までの時間配分



ご清聴ありがとうございました